

みたび

2012.2.1
No.104
議会
だより



御嶽宿のひなまつり

主な内容

- ◆第4回定例会 2ページ
- ◆第4回臨時会 5ページ
- ◆第5回臨時会 6ページ
- ◆そこが知りたい ～ 一般質問 ～ 7ページ
- ◆議員全員研修レポート 13ページ

平成23年 第4回定例会

一般会計・特別会計補正予算可決

平成23年第4回定例会は平成23年12月6日に開会し、12月16日までの11日間を会期として開催しました。

提出案件は、平成23年度一般会計・特別会計補正予算、条例の一部改正など13件が上程され、それぞれ原案のとおり可決しました。

一般質問には町政の諸問題について5名の議員が登壇しました。

議案の審議結果

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 -…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定 ●…否決、不承認、不認定	議 員 名											議決結果	
	谷口 鈴男	佐谷 時繁	岡本 隆子	大沢まり子	植松 康祐	伊崎 公介	加藤 保郎	山田 儀雄	柳生 千明	安藤 雅子	山口 政治		高山 由行
議案第42号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第43号	平成23年度御嵩町一般会計補正予算(第4号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第44号	平成23年度御嵩町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第45号	平成23年度御嵩町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第46号	平成23年度御嵩町下水道特別会計補正予算(第3号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第47号	平成23年度御嵩町水道事業会計補正予算(第2号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第48号	御嵩町税条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第49号	御嵩町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第50号	障がい者制度改革制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第51号	不動産の信託について	-	○	×	○	欠	×	○	○	○	×	×	◎
議案第52号	可児市道路線の認定の承諾について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	◎
議案第53号	岐阜県市町村職員退職手当組合理約の一部を改正する規約について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	◎
発議第4号	地方自治法第180条第1項の規定による町長の専決処分事項について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	◎

人 事

議案第42号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	平成24年3月31日をもって任期満了となる人権擁護委員3名【再任：安藤靖彦氏(美佐野) 新任：小川文甫氏(御嵩) 安藤栄子氏(顔戸)】を法務省へ推薦するもの	賛成全員で可決
--------	--------------------------	--	---------

平成23年度 補正予算

議案第43号	平成23年度御嵩町一般会計補正予算(第4号)について	人件費、社会資本整備総合交付金事業、水道未普及地域解消事業の補正等	賛成全員で可決
議案第44号	平成23年度御嵩町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	療養給付費負担金の過年度分、保険給付費の補正等	賛成全員で可決
議案第45号	平成23年度御嵩町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	共済費の補正	賛成全員で可決
議案第46号	平成23年度御嵩町下水道特別会計補正予算(第3号)について	下水道事業費、不明水対策資金の積み立ての補正等	賛成全員で可決
議案第47号	平成23年度御嵩町水道事業会計補正予算(第2号)について	災害対策、水道未普及地域の事業費の変更に伴う補正	賛成全員で可決

平成23年度 補正予算のあらまし

(単位：千円)

	会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
議案第43号関連	一般会計補正予算(第4号)	7,076,272	30,164	7,106,436
議案第44号関連	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	1,982,265	73,483	2,055,748
議案第45号関連	介護保険特別会計補正予算(第2号) 保険事業勘定	1,238,366	0	1,238,366
議案第46号関連	下水道特別会計補正予算(第3号)	801,650	10,450	812,100
議案第47号関連	水道事業会計補正予算(第2号)	660,808	△3,359	657,449

条 例

議案第48号	御嵩町税条例の一部を改正する条例の制定について	寄附金控除の適用下限の引き下げ、町民税不申告等に関する過料の引き上げ等をするもの	賛成全員で可決
議案第49号	御嵩町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	町の所有する集会所及び公園用地にかかる土地を地縁団体へ譲与するためのもの	賛成全員で可決
議案第50号	障がい者制度改革制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	障がい者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律が制定、施行されたことに伴い、関係条例の整備が必要となったため	賛成全員で可決

その他の議案

議案第51号	不動産の信託について	平成24年度から平成34年度まで、町の約200haの森林の運営・管理を可茂森林組合へ信託するもの	賛成多数で可決 ※（討論あり）
議案第52号	可児市道路線の認定の承諾について	伏見地内に架かる渚之上橋、平貝戸橋の維持管理の主体を可児市道の認定の承諾により決めておくもの	賛成全員で可決
議案第53号	岐阜県市町村職員退職手当組合理約の一部を改正する規約について	組合の事務所の位置の特定及び、組合議員の選任方法を改めるもの	賛成全員で可決

※議案第51号の討論内容

《反対》

8番 伊崎 公介 議員

- ・しっかりとした審議ができていない状態ではなく、質疑に対して疑問を解消できるだけの回答を得られていないので反対。

11番 岡本 隆子 議員

- ・御嵩の森づくりにどう主体的に関わっていくのか、監視体制のあり方など不透明なため反対。

《賛成》

7番 加藤 保郎 議員

- ・町有林の現状を見ると森林の機能を果たしていない。現状では、森林を守るという面からいって賛成。

12番 佐谷 時繁 議員

- ・毎年の報告、軌道修正を行い、御嵩の森を守り自然を守る。みんなで監視すれば環境が破壊されないと思うので賛成。

発 議

発議第4号	地方自治法第180条第1項の規定による町長の専決処分事項について	私債権に関する支払督促(50万円以下のもの)に対し、債務者からの異議申立てにより訴訟となったときに議会の議決を得ず、町長の専決処分とするもの	賛成全員で可決
-------	----------------------------------	--	---------

諸般の報告（議長報告）

報告第1号	「国民健康保険に対する国庫負担金の引き上げを求める意見書」採択を求める陳情
報告第2号	資格証明書の交付を直ちに中止することを求める陳情
報告第3号	「木材の利用推進に関する要望書」
報告第4号	TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加反対に関する要請
報告第5号	「保育所運営費国庫負担金を廃止しないことを求める意見書」の採択を求める陳情
報告第6号	定例監査実施報告書
報告第7号	現金出納検査結果報告(平成23年8月分から平成23年10月分)

諸般の報告（町長報告）

報告第10号	専決処分の報告について(損害賠償の額)
--------	---------------------

平成23年 第4回臨時会

平成23年11月11日に、平成23年第4回臨時会を開会しました。
上程議案が3件と報告案件1件（町長報告）がありました。

議案の審議結果

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 —…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定 ●…否決、不承認、不認定	議 員 名											議決結果
	谷口 鈴男	佐谷 時繁	岡本 隆子	大沢 まり子	植松 康祐	伊崎 公介	加藤 保郎	山田 儀雄	柳生 千明	安藤 雅子	山口 政治	
議案第38号	平成23年度御嵩町一般会計補正予算(第3号)について											◎
議案第39号	財産の取得について											◎
議案第40号	財産の取得について											◎

平成23年度 補正予算

議案第38号	平成23年度御嵩町一般会計補正予算(第3号)について	上恵土水路転落事故に係る損害賠償請求訴訟関係費用及び8.23、9.20豪雨災害による災害復旧費用等に伴う補正	賛成全員で可決
--------	----------------------------	--	---------

平成23年度 補正予算のあらまし

(単位：千円)

	会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
議案第38号関連	一般会計補正予算(第3号)	6,646,384	429,888	7,076,272

その他の議案

議案第39号	財産の取得について	消防ポンプ自動車(第1分団)の購入
議案第40号	財産の取得について	真空冷却機(給食センター)の購入

諸般の報告(町長報告)

報告第9号	専決処分の報告について	特定鉱害復旧事業 西之野・雨田地区充填工事の契約金額の増額変更
-------	-------------	---------------------------------

平成23年 第5回臨時会

平成23年11月28日に、平成23年第5回臨時会を開会しました。
上程議案は、条例の一部改正が1件ありました。

議案の審議結果

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 —…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定 ●…否決、不承認、不認定	議 員 名											議決結果	
	谷口 鈴男	佐谷 時繁	岡本 隆子	大沢 まり子	植松 康祐	伊崎 公介	加藤 保郎	山田 儀雄	柳生 千明	安藤 雅子	山口 政治		高山 由行
議案第41号 御嵩町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	◎

条 例

議案第41号	御嵩町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	平成23年度人事院勧告にあわせ、御嵩町職員の給与等を見直すために必要な規定を整備するもの	賛成全員で可決
--------	----------------------------------	--	---------

民生文教常任委員会施設訪問

民生文教常任委員会では、平成23年11月1日（火）に学校教育関連施設を訪問し学校経営の状況を把握し懇談を行いました。また、平成23年11月10日（木）には児童福祉施設の訪問を行い、各施設の現状確認並びに問題点について説明を受けました。



施設訪問(向陽中学校)の様子



施設訪問(伏見保育園)の様子

平成23年 第4回定例会

そこが知りたい

一般質問は 12 月 12 日に行われ、5 人の議員が活発な質問をしました。

1 高山 由行 議員 ……8 ページ

- 「送木ビオトープ」^{きんぼう}「金峰ふれあいの森」について
- 可見川堆積土のしゅんせつについて
- 町長マニフェスト常設型住民投票条例の設置について

2 安藤 雅子 議員 ……9 ページ

- 防災について
- 歯の健康について

3 大沢 まり子 議員 …… 10 ページ

- 女性の視点からの防災対策について
- 高齢者肺炎球菌ワクチンについて
- 名鉄広見線存続問題について

4 岡本 隆子 議員 …… 11 ページ

- 超深地層研究所にかかる電源立地交付金について
- 電力切り替えについて

5 伊崎 公介 議員 …… 12 ページ

- ホームページの改善を求める
- 町内のトイレの設置

あなたも議会を傍聴しませんか

議会では、町民の皆様の暮らしに密着した重要な問題が審議されます。

所定の受付簿に住所、氏名等を記入し、傍聴券の交付を受けることにより、町議会を傍聴することができます。お気軽にお越しください。

くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。

☎ 67-2111（内線 2252）

文責についてお知らせ

一般質問の「問・答」は、質問議員本人の文責です。一般質問のページに掲載した内容について、議員に直接連絡がつかない場合は、ご質問の内容、お名前、連絡先（住所、電話番号等）を添えて、議会事務局まで書面にてお届けください。各議員に連絡いたします。

町議会の 一般質問を 放映しています

平成 23 年第 4 回定例会から議会で行われた一般質問をケーブルテレビ可児で放映が行われています。

当日に生放送される予定ですが、録画放送及び再放送もされますので、町議会を傍聴することが出来ない方は、ぜひご覧ください。

常設型住民投票条例の設置について



高山 由行

問 町長 マニフエス
トの常設型住民投票
条例の設置について

御嵩町の住民投票は、平成9年6月に産廃処分場建設の是非を問うもので、全国で初めて実施した産廃をめぐる住民投票であった。最近では、合併問題で数多く住民投票が実施されています。常設型の住民投票条例を策定するにあたっては、

①投票の対象事項②発案権者③投票資格の範囲④投票の形式⑤成立案件⑥投票結果の取扱い等々、色々な問題を議論する事になるうかと思われ

るが、町長の考える常設型住民投票条例の設置についての意義

と問題点について問う。

答 【町長】

民主主義の原理において、多数決は正しい答えの選択でなく、責任の負える覚悟のできる選択をすることが答えになると思っている。

選挙で与えられた任期は4年であるが、その間に新しい事案が起き、答えを出さなければいけない局面があった場合の、判断の「よすが」として、住民投票が必要なのではないか。

御嵩町の住民投票条例は、小和沢に計画された産業廃棄物処分場の是非を問う1回だけの使い切りの条例である。

私が住民投票が必

要だと考えた理由は、直接民主制と間接民主制との整合の問題で、間接民主制の議会が、議員発議で産廃計画を反対決議したことについて、民意の確認をしたかった点にある。

また、条例を廃止しなかった理由は、住民投票条例に法的拘束力はないが、これを残すことで反対の意志も残すという考えからである。

常設型条例の議案作成には議会はもちろん町民にも加わっていただき、完成度の高い条例案にした上で、議会に提案していきたくと考えています。

問 可児川の堆積土のしゅんせつについて

一級河川の可児川は県の所轄であり、県へのしゅんせつの要

望は幾度となく出しているが、去年、今年の豪雨災害を目の当たりにし、可児川流域の町民は、堆積土がいつぱいという状況でまた来年の増水期をむかえる不安でいっぱいである。

町民の不安解消にあたり以下の4点について問う。

①御嵩町内の堆積土調査は行なってもらえたか。
②調査報告は受けたか。
③しゅんせつの要望は行なってもらえたか。
④御嵩町内のしゅんせつ工事の予定はどうか。

答 【建設部長】

①の堆積土の調査については、こん跡調査を伏見野崎地内から上流の次月地内まで。河川断面調査は下流側から顔戸地内

まで岐阜県が行っている。

②については、調査結果により現在分析を含め、浚渫工事計画と工事の早期着手について検討をしているとの説明を聞いている。

③の要望については、10月6日に岐阜県知事に対して十分な流下能力が確保できるよう浚渫を含めた改修について早期実施を要望している。

④の浚渫工事の予定については、今年度には伏見の平貝戸橋付近から顔戸地内まで工事が着手できるような検討を進めているという説明があった。それより上流側についても、引き続き河川断面調査の実施と併せて浚渫の検討をしていただいております。

防災の取組みについて



安藤 雅子

問 ボランティアについて

御嵩町では、2年続けて大きな災害に見まわれました。東海地震は30年の間に87%の確立で起こるとも言われ、亜炭廃坑の問題もあります。

想定外は起こりうるという想定のもとに、いざという時、迅速に対応できる組織作りと運営が大切と考えます。御嵩町の災害ボランティアの現状と今後の取り組みについてお伺いします。

答 【民生部長】

御嵩町地域防災計画で御嵩町社会福祉協議会に災害ボランティアセンターを設

置することにしており、災害時に円滑かつ効果的に機能させるため、東日本大震災の被災地に職員を派遣し、センター業務のノウハウの蓄積に努めている。

社会福祉協議会で東日本大震災を受けて、ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しを行うとともに、ボランティアコーディネーターの育成などに取り組み、ボランティアセンターの実効性を高めていく。

問 避難所について

避難所では、情報や物品が不足しているように見受けました。対策本部とネット

で結ぶなど情報を伝えたり、避難所間の情報、人、物のやりとりも必要と考えます。又、毛布等不用品の提供を町民に呼びかけてはどうでしょうか。町民の中には「自分にできる事なら協力をしたい」と考える方も多くあります。町民の方々の御好意を生かす工夫はできませんか。

答 【総務部長】

避難所への情報提供は、現在の防災行政無線の他、ケーブルテレビ、新設されるFM局など今後提供する手段を充実させていきたい。

対策本部とのネット交信は、町出先機関であれば可能であり、今後災害時には積極的に活用したい。又、健康面のケアの

ため各避難所へ保健師が巡回を行っている。毛布等の備蓄は必要だが、実際の避難時では何でも行政が対応するということでは不可能なので、避難に時間的余裕がある場合は、まず各自が持参して頂くよう、自助の視点で啓発していきたい。

問 歯の健康について

先日、御嵩小学校が文部科学大臣賞を受賞されました。町内の3小学校が歯の取り組みにとってもが

先日、御嵩小学校が文部科学大臣賞を受賞されました。町内の3小学校が歯の取り組みにとってもが

答 【民生部長】

町内の保育園と小学校で実践している

歯と健康の取り組みを、中学校においても関係者のご理解により実践を願うものである。この取り組みにより、歯磨きの習慣づけで重要な保育園から中学校までの継続性を確立することができるといえる。

実践にあたっては、保健センターとの連携も図っていきたい。また、来年度の健康まつりで御嵩小学校の取り組みを発表していただき、歯の健康を考える機会にしていきたい。

これまでの歯・口腔の健康づくりに関する施策についても、さらに充実していきたい。

女性の視点で防災対策の充実を



大沢まり子

問

この8月公明党は、女性防災会議を立ち上げ、10月には「女性の視点からの防災対策の現状について」のアンケート調査を全国の女性議員が行った。その結果から5点伺う

- ① 防災会議への女性委員の積極登用を求む。
- ② 地域防災計画に女性の意見を反映させる取り組みを求む。
- ③ 女性消防団員の登用について伺う。
- ④ 避難所運営訓練(HAG)を取り入れ地域と連携した防災訓練の実施を求む。
- ⑤ 防災教育の充実と共に小中学校に防災担当職員を配置すべきではないか。

答

【総務部長】

- ① 18人中、女性は一人。今後、女性委員の増員を検討したい。
- ② 地域防災計画の修正を平成24年度から2カ年で行う予定でいるが、女性の提言を計画に活かせるよう参画の機会を増やしていきたい。
- ③ 火災予防の広報や災害時の後方支援などに当たってただける女性消防団員の確保、制度化に向け検討していきたい。又制度だけでなく、男女共同参画社会の実現のため、女性の意識啓発も同時に進めていきたい。
- ④ 本町ではHUGという明確な定義ではないが、避難所の運営についてワークショップ

ップなどを開催している。今後、HUGが実際のどのような形で行われているか把握した上で実施に向け検討したい。

答

【教育長】

各種の学習や訓練の中でも、特に火災や地震から身を守るための避難訓練は、回数や方法を工夫して実施している。防災担当には教頭が当たり、防災教育と安全管理の充実・徹底に努めている。

問

高齢者肺炎球菌ワクチンについて伺う

- ① 当町における死亡原因と肺炎の割合は。
- ② 医療費の推移について。
- ③ 医療費高騰への対策はあるか。

④ ワクチンへの公費助成はできないか。

答

【民生部長】

① 平成21年の死亡原因の第1位は悪性新生物、次いで心疾患、脳血管疾患、肺炎の順であった。

また、肺炎の死因割合は12.7%となっている。

- ② 町国民健康保険の医療費は、高齢化や医療の高度化等により、年々増加している。
- ③ 健康診断や各種検診を積極的に利用し、病気の予防や早期治療に心掛けていただくことが重要である。
- ④ 国の動向を注視し、前向きに検討していきたい。

問

名鉄広見線存続問題について伺う

- ① 利用促進策と現状は。
- ② 定期利用者増への

対策は。

答

【企画調整担当参事】

- ① 電車通勤モニター制度、回数乗車券購入補助制度、団体助成制度、御嵩駅前での無料駐車場の供用、レンタル用電動アシスト自転車配備の他、「かもーグランプリ」、「レールウェイズ2」の特別先行試写会等のイベントを開催。こうした中、本年度上半期の利用者数は50万7千人と前年度同期より1万8千人の減。
- ② 企業へのPR強化と共に、魅力ある高校づくりに取り組む東濃高校支援のため「協働・連携協定」を締結する。また、電車等公共交通を利用する「町民運動」を立ち上げ、町職員も率先して電車通勤拡大に取り組む。

東濃を核廃棄物の最終処分場にしないために！



岡本 隆子

問

瑞浪市「超深地層研究所」への協力という事で御嵩町も「電源立地交付金」の交付を受けている。核廃棄物の最終処分場にしないうために、町としてどう行動するのか

2005年に、すべての核燃料を再処理して地層処分するという法律が成立した。その地層処分の研究をしている所が全国で2ヶ所、北海道幌延と瑞浪市にある「超深地層研究所」である。瑞浪市はもとより、御嵩町を始め7自治体が研究所に隣接していることで「電源立地交付金」が交付されている。一番危惧することは、こうした「痛くも痒くもない」交付金を受け取ることで、将来、

東濃地方が核廃棄物の最終処分場になることにつながるのではないかとということである。昨年、御嵩には約1億5千2百万円が交付された。

東濃地方の研究所に關しては平成7年に瑞浪市長、土岐市長、動力炉・核燃料事業団理事長との間で「放射性廃棄物の最終処分場にしない」という協定書がある。

協定書が今後どれほどの効力を持つものであるのか。東濃地方を核の最終処分場にしないという意思表示を国に対して行っていくべきではないか。

①交付金を申請するにあたり国からどのような説明を受けているか。

②平成9年から11年にかけて次月、美佐野でボーリング掘削

調査している。報告を受けているか。

③次月では、物理探査やボーリング調査など長期観測中と聞くが、現在はどうなっているか。

④電源立地交付金を受け取らない選択肢はあるか。

⑤核廃棄物最終処分場にしないうためにどのように意思表示するのか。

⑥町の将来にとつて重大な問題であるが、町民に情報提供すべきではないか。

答

【総務部長】

①当時説明があつたのか資料が残っていないため明確な回答が出来ない。ただ、岐阜県が当時、制度概要などの説明会を開催した。

②①と同様、現在資料等が残っていないので明確な回答が出来ない。

③次月地区で一か所水位を計測している。また、データも公開

されている。

⑥平成7年の最終処分場にしないという協定書は現在も有効であり、情報公開もされているため、現時点で情報提供をすべきと判断していない。今後も町として協定書の効力や研究所の動向を注視していき、状況の変化があれば当然町民の方に報告することとなる。

答

【町長】

④交付金は申請が必要であり、申請しない選択肢もあるが、現段階で交付申請をしないという考えはない。

⑤「核廃棄物処分場にしない」との知事・市長・市議会・市民の協定・発言・決議を信頼している。

問

電力切り替えについて

2000年から電力の自由化が導入され、特定規模電気事業者による小売りが

認められた。地域ごとに独占供給されてきた電力を自由に売買できる制度である。事業者の多くは自然エネルギーで発電しているため、購入割合を増やすことは脱原発につながる。岐阜県でも利用料の約3割をこの制度を利用して購入している。当町でも検討して頂きたい。

切り替える考えはあるか。

答

【総務部長】

切り替えた場合のデメリットとしては余剰電力の安定供給に東日本大震災以降不安が生じてきたこと、メリットとしては本庁舎の冷暖房を重油から電気として使用量が増加しスケールメリットが出てきたことなどがあるが、今後様々な角度から検討し、早急に結論を出したい。

御嵩町のイメージアップの為に



伊崎 公介

問 御嵩町公式サイトの改善を求める

公式サイトの改善

は過去二度に亘って質問しているが、改善された様子がかうかがえない。

①トップページは項目が非常に多く、見つけにくい項目を探し出して、リンク先へ移動しても、無味乾燥なページが出現する。閲覧者に不便を感じさせずに、御嵩町の魅力を訴えられるようなページへの改善を求める。

②23年度予算で措置されると聞いていたホームページの改善の進捗状況をお聞かせ願いたい。

答 【総務部長】

①現在のホームページは、町の歴史や重点施策など文字でのメッセージ部分が多く、閲覧者にとつて検索し易いフォームではないと町の魅力

を伝える力も弱いと実感している。したがって自治体のホームページとしてどのようなのが良いのか、評判の良い市町村を参考とし、また広報モニターの方に意見を聞いてリニューアルに向け作業を行っている。

また、トップページの改善だけでなく、リンク先の情報が更新されていなかった

り、情報量が不足している。再度アクセスしようと思わない。

こうしたホームページ全体の充実が大切なことなので、先日リニューアルに合わせたリンクする行政情報の最新化、内容の充実を図るよう各課に依頼した。

②現在リニューアルに向け作業を行っている。来年、1月末までに完了したい。

問 町内のトイレの設置を求める

ウォーキングマップ

が発行され、多くの方々に配布されているようであり、イベント等も実施され、多くの方々が御嵩町を訪れてくれるようになった。最近、開設された「さんさん広場」にはトイレの設置がな

く、「わいわい館」には男女の別なく多目的トイレが一基設置されているだけである。

時代に応じたトイレは、現代での必須条件と思われる。

①今までは、どういう基準でトイレを設置されてきたか。

②中山道を訪れた人々、或いは町民に不便を感じさせないトイレ事情のため、どのような方策で臨まれるか。

答 【総務部長】

①明確な基準はない

が、イベント等で来町された方に公民館や駅施設などの公共施設、東海自然歩道の沿道など立ち寄りやすい場所に設置している。

②現在まで、イベント等で訪れる方から

トイレが少なく不便という苦情は聞いていない。昨年、名鉄広見線活性化協議会が作成したウォーキングマップには各コース沿いにトイレマークの施設を明示しており、イベント時に配布している。

今後、町HPで、このマップを何時でもダウンロードできるようにしたい。

これからの方策としてイベントはまち興しという視点で、沿道の商店やコンビニなどに協力して頂いて、トイレ提供と地域のお得な情報の発信地という趣旨のポリシーを立てさせていただきます。来町者にPRしていきたい。

議員全員視察研修レポート

平成23年10月18日に、議員全員視察研修を実施しました。

- 1、視察研修目的 大規模災害発生時における議会对応について
(東日本大災害における経験、課題等を踏まえ)
- 2、視察研修日 平成23年10月18日(火)
- 3、視察研修先 宮城県七ヶ浜町(七ヶ浜町議会、七ヶ浜町ボランティアセンター)
- 4、参加者議員 議長 谷口鈴男 副議長 大沢まり子
議員 佐谷時繁 岡本隆子 植松康祐 伊崎公介 加藤保郎
山田儀雄 柳生千明 安藤雅子 山口政治 高山由行

□七ヶ浜町の概況

人口 20,338人(平成23年10月1日現在)
世帯数 6,460世帯()
面積 13.27平方キロメートル

《視察研修を終えて》

大規模災害時における議会の対応については、今般の震災の経験を踏まえ、従来の想定を超えた対策の再構築が求められています。また、当町には、全域に亜炭廃坑跡が存在するという特殊性もあり、震災時には地盤の陥没等の甚大な被害が予想されます。

大規模災害発生時における議会活動のあり方について早急に知見を得、危機管理能力を高める必要があります。今回、震災の復旧・復興に取り組んでおられる中、七ヶ浜町議会と七ヶ浜町ボランティアセンターにお伺いし、議員全員で研修を行いました。

当日は、ご多忙の中、研修先では、懇切丁寧な説明、教示をいただきました。今後は、町の行政施策と議員活動に役立てるべく努力をしていく所存です。

この度の東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますと共に、七ヶ浜町の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

御嵩町議会
議長 谷口 鈴男

《視察研修レポートについて》

今回の議員全員視察研修については、議員各個人からレポートが提出されています。内容については、御嵩町議会事務局にて閲覧ができますので、希望される方は、ぜひお越しください。また、町ホームページでも閲覧ができますのでご覧ください。



七ヶ浜町議会で研修

☆平成23年3月11日(金)に起こった東日本大震災発生時における議会の対応等について、七ヶ浜町議会の方々から説明を受けました。

七ヶ浜町ボランティアセンターで研修

☆御嵩町の小・中学校からの復興を願う寄せ書きを渡し、震災発生時におけるボランティアセンターの対応等について、七ヶ浜町ボランティアセンターの方々から説明を受けました。



御嵩町産業祭

☆研修の折、七ヶ浜町の復興を願い、議員全員で現地の特産物を購入し、平成23年10月23日(日)に行われた御嵩町産業祭で、七ヶ浜町の特産品（海のラー油、海の五食野菜ラー油、焼のり）を販売し、売上金 59,000 円を七ヶ浜町に寄附しました。

議会日誌

〔23年11月～24年1月〕

1日	28日	24日	23日		22日	19日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	7日	4日	2日	1日	
第4回定例会(初日)	議会運営委員会 全員協議会 第5回臨時議会	総務建設産業常任委員会協議会 第5回臨時議会	J Aめぐみの農業者大会	可茂消防事務組合臨時会	協議会	民生文教常任委員会	民生文教常任委員会協議会	可茂消防事務組合臨時会	町村議会議長全国大会										
27日	26日	25日	23日	21日	20日	17日	13日	12日	8日	5日									
施設訪問	民生文教常任委員会 議会運営委員会 全員協議会	民生文教常任委員と教育委員との懇談会	可茂地域町村行政懇談会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会	御嵩町社会福祉大会

編集後記

議員になってもう5ヶ月が過ぎました。3回の臨時会、2回の定例会を経験して、初議会の緊張、初登壇の緊張、初表決の緊張、そして今定例会一般質問のケーブルテレビ可児の生放送と、毎日緊張感を持って公選された二元代表の一翼を担う一人として努力しております。

議長を中心に全議員が一枚岩になり御嵩町民の安全、安心のために真剣に取り組んで、活発な議論ができる様に努めてまいります。一度みなさまも、議会傍聴をされては、いかがですか。

(T・Y)